

令和3年度 事業報告

社会福祉法人 野の花学園

1. 総括

菅義偉総裁は、安倍政権を引き継いでからわずか1年で、新型コロナ対策に専念するとして退陣を表明、2021年9月、後任には岸田文雄新自民党総裁が誕生した。

前政権に引き続き岸田総裁は、新型コロナ対策を最重点事項に掲げワクチン接種をはじめ諸々の対策を打ち出した。いずれの対策も後手後手として国民の批判に晒されたが、ワクチン以外に有効な手段はない諦めに近い嘆きが聞かれた。

それでも9月上旬には明確な原因が特定されないまま新規感染者の著しい減少があり、ひとまず第5波はピークアウトしたかに見えた。

安心したのも束の間、翌年正月明けから、デルタ株がオミクロン株に置き換わることで第6波となり感染拡大は猛烈な勢いで日本中に拡大した。

この間、1年延期して開催された東京オリンピック・パラリンピックはほぼ無観客での開催となった。感染拡大を防ぐためのワクチン接種は、2月から始まり、10月末までに人口の7割を超える人が2回目の接種を完了した。その後6か月経過して3回目、2022年5月からは4回目が行われると言う。

米国では激しい選挙戦の末、バイデン氏が第46代大統領に就任した。トランプ前大統領から始まったアメリカ国内の分断、同盟国との関係悪化などトランプ大統領の自国第1主義は世界中の分断の火種となった。

2022年2月24日、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻が勃発し、世界の分断はさらに深い亀裂をもたらし、専制国家と民衆主義の対立としてマスコミを賑わした。

新型コロナとの2年に及ぶ戦いは、いまだ人類の勝利というにはほど遠い状況にありマスク手洗い密の回避といった初期からの防戦対策が相変わらず続けられた。

ワクチン接種は感染拡大に一定の評価がなされたが、これも防戦の最後の砦となっており、いたずらに回数を重ねるだけではやがて国民にソッポを向かれることになり軍配はウイルスに傾きかねない。

野の花学園においてもデルタ株には第5波まででない感染に悩まされた。これまで必死に守り通した堅い守り(?)が一気に突破されたようで職員・利用者にとめどなく感染が拡大し多くの施設で休園を余儀なくされる事態となった。

利用者・職員の安全優先を唱える一方で、経営の問題を持ち出すのは些か不謹慎であるが、一部の事業では大きな減収となった。これ以上の感染拡大次第では一時的であれ事業の中断も真剣に考えなければならない事態である。

如何せん継続性が求められる福祉のあるべき姿を軽視することになりかねず事業の中断は現実味のない机上の空論かもしれない。

本年度新規事業として立ち上げた次の事業は予定通り実施されており概ね初年度の目的は達成され順調な滑り出しとなった。

① 相談事業統括部

障害者就業・生活支援センター野の花、西区第2障がい者基幹相談支援センター、障がい者ライフサポート野の花中央、障がい者ライフサポート野の花西

② 放課後等デイサービス野の花野芥

③ 五灯大学校で自立訓練訪問型事業

- ④ キャリアサポート天神の単独多機能型事業所
- ⑤ 野の花富楽和で自立生活援助フラワー（自立生活援助事業）の開設
- ⑥ 野の花富楽和で自立訓練FLOWER（自立訓練（生活訓練）事業）の開始

本法人の収益の柱であるコア事業収入は、令和3年度は25億3,300万円、令和2年度は24億5,800万円、令和1年度は19億4,400万円となり、法人の事業活動は今なお拡大傾向にある。

現状は、何とか事業の拡大と安定経営が維持されているが、将来展望は、必ずしもバラ色と浮かれる訳にはいかない。よく言われる少子高齢化の伸展による社会保障費の膨張に起因する支援費報酬の伸び悩み、更には福祉を支える人材の問題が悲観的な見方に拍車をかけている。

支援費報酬改定の過去の経緯が示す通り、この10年来ほとんどゼロ回答で人件費はおろか諸物価の上昇にも覚束ないものである。

平成21年度報酬改定+5.1%、24年度+2.0%、27年度±0%、30年度+0.47%、令和3年度+0.56%の増額改定となっている。

いずれもプラス改定となっているものの、すべての支援報酬の平均であり、実質の報酬は大幅減収となっているのが実態である。

更なる経営の合理化により、健全な経営と良質な支援の両立に努め、創立当時の5人の母親が求めて止まなかった「多くの利用者を受け入れたい」とする切実な願いを実現していくため役員職員一同のたゆまぬ努力を続けていきたい。

いずれにしても、利用者が明るく楽しく、またそれを支援する多くの職員が自らの生活の根城として安定した豊かな人生を送ることが出来るよう細心の配慮と大胆な決断をもって法人運営に臨む覚悟であり、それが創立から60年間貫き通してきた当法人の理念であり目指すところである。

2. 会議等の開催

(1) 評議員会 年3回（うち、決議省略2回）

評議員8人

林 宗一	（野方菱光株式会社 代表取締役）
高須賀 徹	（高須賀 徹税理士事務所 税理士）
久保美代子	（愛宕校区自治協議会事務局長・愛宕校区民生委員児童委員協議会会長）
三好 正信	（宗教法人 金龍寺 住職）
小林 秀幸	（株式会社 インテリジェンスキーマン 代表取締役）
合原佳登理	（社会福祉法人大野城市社会福祉協議会 事務局長）
彌登 義明	（一般社団法人福岡青年会議所 理事長）
川上 康男	（社会福祉法人筑前町社会福祉協議会 会長）

（令和3年 6月29日退任）

出田 正城 （前 一般社団法人福岡青年会議所 理事長）

（令和3年12月31日退任）

矢野 徹 （前 社会福祉法人筑前町社会福祉協議会 会長）

(1) 第1回評議員会：令和3年4月30日（金）

（決議の省略により評議員会の決議があったものとみなされた日）

※新型コロナウイルス感染症対策のため

同意書提出者：評議員8人中8人

議事録作成者：福田 量

〔協議〕

第1号議案 定款変更の件

(2) 定時評議員会：令和3年6月30日（水）

会 場：ホテルニューオータニ博多 3階 アイリス

出席者：評議員8人中7人、 理事3人、 監事 2人

議事録署名人：高須賀 徹、小林 秀幸

〔協議〕

第1号議案 令和2年度事業報告の件

第2号議案 令和2年度収支決算（案）及び監査報告の件

第3号議案 次期役員選任の件

第4号議案 定款変更の件

(3) 第3回評議員会：令和3年12月24日（金）

（決議の省略により評議員会の決議があったものとみなされた日）

※新型コロナウイルス感染症対策のため

同意書提出者：評議員8人中8人

議事録作成者：福田 量

〔協議〕

第1号議案 役員交代の件

第2号議案 定款変更の件

(2) 理事会 年4回（うち、決議省略2回）

理事7人

理事長 福田 量（医療法人社団福光会 会長）

常務理事 喜久 正和（社会福祉法人野の花学園 事務局長）

理 事 岩城 和代（岩城法律事務所 弁護士）

理 事 太田 輝幸（九州勧業株式会社 代表取締役会長）

理 事 白川 祐治

理 事 佐藤 晃（西日本新聞民生事業団 事務局長）

理 事 堤 正直（社会福祉法人野の花学園 第一野の花学園施設長）

監事2人

菊池 武彦（菊池会計事務所 公認会計士）

諫山 達海（諫山税理士事務所 税理士）

（令和3年12月31日退任）

理 事 津田 祐一（前 西日本新聞民生事業団 事務局長）

監 事 佐藤 純子（元 社会福祉法人野の花学園 第二野の花学園施設長）

(1) 第1回理事会：令和3年6月15日（火）11：00

会 場：野の花学園法人本部会議室（Web会議）

出席者：理事7人中7人、 監事2人中2人

議事録署名人：福田 量・菊池武彦・佐藤純子

〔協議〕

1. 令和2年度事業報告の件

2. 令和2年度収支決算及び監査報告の件
3. 評議員選任・解任委員会委員交代の件
4. 評議員交代の件
5. 次期役員の内
6. 令和3年度定時評議員会開催の内
7. 定款及び定款施行細則の変更、理事長専決規則廃止の内（紙上協議）
8. 野の花富楽和の内（紙上協議）
9. 施設長人事の内（紙上協議）

(2) 第2回理事会：令和3年6月30日（水）12：00

会場：ホテルニューオータニ博多 3階 ローブルーム

出席者：理事7人中5人、 監事2人中2人

議事録署名人：福田 量・菊池武彦・佐藤純子

〔協議〕

1. 理事長及び常務理事の選任の内
2. 理事長代行の内

(3) 第3回理事会：令和3年12月13日（月）

（決議の省略により理事会の決議があったものとみなされた日）

※新型コロナウイルス感染症対策のため

同意書提出者：理事7人中7人

確認書提出者：監事2人中2人

議事録作成者：福田 量

〔協議〕

1. 評議員交代の内
2. 役員交代の内
3. 定款変更の内
4. 評議員選任・解任委員会委員交代の内
5. 第3回評議員決議省略の内

(4) 第4回理事会：令和4年3月30日（水）

（決議の省略により理事会の決議があったものとみなされた日）

※新型コロナウイルス感染症対策のため

同意書提出者：理事7人中7人

確認書提出者：監事2人中2人

議事録作成者：福田 量

〔協議〕

1. 令和3年度補正予算の内
2. 令和4年度事業計画の内
3. 令和4年度収支予算の内
4. 経理規程第66条による随意契約の内
5. 諸規程改正の内
6. 第三者委員交代の内
7. 施設長人事の内

(3) 評議員選任・解任委員会 年2回（うち、決議省略2回）

外部委員：横尾 和彦（元 社会福祉法人野の花学園 理事・評議員）
委員：古川慎太郎（社会福祉法人野の花学園 相談支援事業部 施設長）
委員：宮地 博司（前 社会福祉法人野の花学園 第二野の花学園施設長）
監事：諫山 達海（諫山税理士事務所 税理士）

（令和3年3月31日退任）

委員：安元 照貴（元 社会福祉法人野の花学園 第一野の花学園施設長）

（令和3年4月1日就任、令和4年3月31日退任）

委員：宮地 博司（前 社会福祉法人野の花学園 第二野の花学園施設長）

（令和3年12月31日退任）

監事：佐藤 純子（元 社会福祉法人野の花学園 第二野の花学園施設長）

（1）令和3年6月18日（金）

（書面審議により承認があったものとみなされた日）

※新型コロナウイルス感染症対策のため

承認書提出者：委員4人

議事録作成者：福田 量

〔協議〕

1. 評議員の交代に伴う新評議員会の選任の件

（2）令和3年12月19日（日）

（書面審議により承認があったものとみなされた日）

※新型コロナウイルス感染症対策のため

承認書提出者：委員4人

議事録作成者：福田 量

〔協議〕

1. 評議員の交代に伴う新評議員会の選任の件

（4）会計監査・業務監査（年5日）

監事 菊池武彦、佐藤純子

令和3年5月 1日（土）第二学園拠点

5月 5日（水）なのみ学園、スポセン、第三、まどか、ちくぜん、
就業・ちく、つくしぴあ

5月 8日（土）第一学園、志摩日々菜々、富楽和、西フレンド

児童発達支援拠点（1日目）

5月13日（木）第一学園、志摩日々菜々、富楽和、西フレンド

児童発達支援拠点（2日目）

5月14日（金）本部、ふよう、五灯館大学校、キャリサポ福岡・天神、
就業・野の花、早良フレンド

3. 実施事業等

（1）第一種社会福祉事業

（1）障害者支援施設 第一野の花学園

①日中活動支援：

生活介護（定員60名）、自立訓練（定員10名）、就労継続B型（定員24名）

②生活支援：

施設入所支援（定員60名）、

③短期入所（定員6名）

(2) 障害者支援施設 第二野の花学園

①日中活動支援：

生活介護（定員65名）、就労継続B型（定員50名）

②生活支援：

施設入所支援（定員70名）

③短期入所（定員6名）

(3) 救護施設野の花（定員50名）

(2) 第二種社会福祉事業

(1) 障害福祉サービス事業

①共同生活援助事業

（第一野の花学園グループホーム13か所58名、第六野の花グループホーム1か所17名、グループホーム東3か所8名、フラワー3か所19名）

②居宅介護事業（ヘルパーステーション野の花）

③キャリアサポート福岡・天神（五灯館大学校専門課程本校を兼ねる）

（就労移行支援 福岡20名、天神10名、就労定着支援 利用者数20人以下）

④第三野の花学園（就労継続B型 定員25名、就労移行 定員15名、

就労定着支援 利用者数20人以下）

⑤障害福祉サービス事業所ちくぜん野の花

（就労継続B型 定員25名、就労移行 定員15名、就労定着支援 利用者数20人以下）

⑥福岡市立ふよう学園

（就労継続B型 定員42名、就労移行 定員12名、自立訓練 定員6名）

⑦福岡市立なのみ学園

（就労継続B型 定員42名、就労移行 定員12名、自立訓練 定員6名）

⑧大野城市障がい者支援センターまどか・ゆいぼる

（就労継続B型 定員10名、生活介護 定員20名）

⑨五灯館大学校基礎課程本校（自立訓練 定員20名）

⑩志摩日々菜々（就労継続B型 定員20名）

⑪児童発達支援センター野の花（定員30名）

⑫障害児通所支援事業（放課後等デイサービス野の花今津）定員10名

⑬障害児通所支援事業（放課後等デイサービス野の花姪浜）定員10名

⑭障害児通所支援事業（放課後等デイサービス野の花下大利）定員10名

⑮障害児通所支援事業（放課後等デイサービス第六野の花 定員10名

⑯障害児通所支援事業（放課後等デイサービス野の花野芥）定員10名

⑰野の花富楽和で自立生活援助フラワー（自立生活援助事業）

⑱野の花富楽和で自立訓練FLOWER（自立訓練（生活訓練）事業）

定員20名

(2) 身体障がい者福祉センター事業

- ①身体障がい者福祉センターA型（福岡市立障がい者スポーツセンター）
- ②身体障がい者福祉センターB型（福岡市立早良障がい者フレンドホーム）
- ③身体障がい者福祉センターB型（福岡市立西障がい者フレンドホーム）

(3) 相談支援事業

- ①指定相談支援事業（福岡市西区第2障がい者基幹相談支援センター）
- ②指定相談支援事業（障がい者ライフサポートセンター野の花中央）
- ③指定特定相談支援事業（大野城市障がい者支援センター）
- ④指定相談支援事業（フラワー）
- ⑤指定特定相談支援事業（障がい者ライフサポートセンター野の花西）
- ⑥障害者就業・生活支援センター事業
 - 障害者就業・生活支援センター野の花
 - 障害者就業・生活支援センターちくぜん
 - 障害者就業・生活支援センターちくし
- ⑦生活困窮者に対する相談支援事業（救護施設野の花）

(4) 地域生活支援事業

- ①移動支援事業（ヘルパーステーション野の花）
- ②日中一時支援事業
 - （第一野の花学園（定員6名）、第二野の花学園（定員6名））
- ③地域活動支援センター（筑紫地区地域活動支援センター）

(3) 公益事業

- (1) 地域生活総合支援センター「支援センター今津」
- (2) 地域生活総合支援センター「支援センター夜須」
- (3) 障害者雇用納付金関係助成金要領における職場適応援助者支援事業（独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構：ジョブコーチ）
- (4) 生の松原特別支援学校放課後等支援事業
 - （福岡市委託事業：児童発達支援地区）
- (5) 福岡市西区第2障がい者基幹相談支援センター

(4) その他の事業（委託・補助事業・単独事業等）

- (1) 障害支援区分認定調査事業
- (2) 福岡県障害児等療育支援事業（第二野の花学園）

5. 会議

新型コロナウイルス感染症対策の一環でWeb会議を導入し、開催を行った。

(1) 管理者会議

常務理事及び施設長を構成メンバーに毎月1回を定例とし、令和3年度は12

回開催した。

(2) 経営企画会議

常務理事及び施設長を構成メンバーに毎月1回を定例とし、令和3年度は12回開催した。

6. 人材育成への取り組み

職員としての資質とサービスの質の向上を目的とした内部研修会等を自主企画・実施した。

(1) 役職昇格者辞令交付式 令和3年4月3日(土) 9:30

於 早良障がい者フレンドホーム

(2) 入職式 令和3年4月3日(土) 10:00

於 早良障がい者フレンドホーム

(3) 新入職員入職時研修会

令和3年4月3日(土) 於 早良障がい者フレンドホーム

※新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(4) 職員研修会 毎月1~2回(全23回企画、12回開催)

9:00~17:30 於 障がい者スポーツセンター 受講者10名程度

※新型コロナウイルス感染症予防対策により部分中止

(5) 野の花学園合同研修会 ※新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(6) 永年勤続表彰

20年 中野 正人(福岡市立ふよう学園)

宮地 博司(第二野の花学園)

10年 吉田 史朗(大野城市障がい者支援センター)

久家 善明(第二野の花学園)

井上 真理子(放課後等デイサービス第六野の花)

岡村 安希(志摩日々菜々)

松山 敏一(法人本部)

7. 野の花学園後援会との連携

長年にわたり当法人を側面から支援していただいている後援会との連携強化を図り、施設運営についての理解を深めてもらうことに努めた。

(1) 後援会会員への情報提供

法人の広報紙「野の花だより」に後援会の記事欄を設け、行事案内等を行った。

(2) 後援会が行う事業への支援

(1) 春のつどい ※新型コロナウイルス感染症予防対策により中止

(2) 第8回野の花学園チャリティーゴルフ大会

(11月11日(木) 8:00 於 筑紫ヶ丘ゴルフクラブ)

8. 各種団体との連携と参画

法人及び施設の上部組織等を中心に、各種委員会、研修会、行事等へ参加するこ

とにより連携を図ることに努めた。

- (1) 日本知的障害者福祉協会
 - (1) 九州地区知的障害者福祉協会
 - (2) 福岡県知的障がい者福祉協会
- (2) 福岡県社会福祉法人経営者協議会
- (3) 福岡市民間障がい施設協議会
- (4) 全国地域生活支援ネットワーク